

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	Q さん		
所属	文学部・大学院 総合人間学科・専攻		
留学先機関名	ラオス国立大学（国名：ラオス ）		
留学先所属	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（文学部・社会学部） <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019年9月－2020年4月	留学開始時 学年	該当なし
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他（ ）		



1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類(学生ビザ ST-B2)	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 場所(在日本ラオス大使館またはラオス国立大学国際関係事務室)																								
必要書類、手続き 手続きに要した期間	必要書類：ビザの申請書・パスポート 事例が少なかつたらしく在日本ラオス大使館への問い合わせ・返答がスムーズに行かず、国内での申請が間に合わなかったため、結局最初の1ヶ月は観光ビザで滞在した。ラオス国立大学の国際関係事務室にて手続きをし、1度隣国タイに行き、再入国の際に学生ビザを取得した。																										
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	準備としては、各種予防接種。																										
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ラオス語)																										
勉強方法	ラオス語の教材は少ないため、非常に似ているタイ語の勉強から始めた。熊本県内にタイやラオスでの勤務経験のある人がいたため、その人に個別で授業をしてもらっていた。ラオス国立大学の学生が熊本大学に留学する場合は、後期のみの場合がほとんどのため、そのときに知り合っておけば言語を教えてもらえたかもしれない。																										
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	現地に行った後、大学での学生ID登録に非常に時間がかかり、多くの書類が必要になる。東京外国語大学からの留学生やラオス人で留学経験がある学生などと仲良くなっておき、サポートしてもらうのが早い。 また、履修登録の手続きにも苦労した。文学部と社会科学部の授業をとるためそれぞれの窓口は何度も話をしに向かった。とくに社会科学部は、交換留学生を受け入れることなど殆どないため、どの授業にこういった形で参加するのか先生と一緒に決める必要があった。その際も一人で行くより、サポートしてくれる(できれば同じ学部の)学生がいた方がスムーズに話が進む。																										
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 授業料</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 寮費</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 語学研修費</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td><input type="checkbox"/> 教材費</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ビザ申請</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡航費(<input checked="" type="checkbox"/>片道 <input type="checkbox"/>往復)</td> <td style="text-align: right;">25,000</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外旅行保険料</td> <td style="text-align: right;">180,000</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他()</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	円	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			渡航費(<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復)	25,000	円		海外旅行保険料	180,000	円		<input type="checkbox"/> その他()			円
<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	円																								
<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円																								
<input type="checkbox"/> ビザ申請	円																										
渡航費(<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復)	25,000	円																									
海外旅行保険料	180,000	円																									
<input type="checkbox"/> その他()			円																								

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	エアアジア	手配	エアアジア公式サイト ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→ドンムアン空港 (タイ・バンコク) 現地にて 一泊→ワットアイ国際空港(ラ オス・ビエンチャン)	到着 時刻	13:15 【※実移動時間約7時間 延べ約30時間】
大学(寮)への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関(<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	熊本大学に留学していたラオス人学生が空港から寮まで送迎してくれました。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他()	住居 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他(最初は1人だったが、1ヶ月後に新たに日本人が1人やってきた)	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
住居の申込手順	寮の留学生用窓口で行う。空港から送迎してくれた学生と大学の国際関係科のスタッフの方が書類の書き方を教えてくれる。		
住居でのトラブル および解決方法	窓口に伝える。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	徒歩約15～25分		
生活費および内訳 (概算を円換算)	<p>生活費計 39,200円/月 (生活費内訳)</p> <p>住居費: 5,000円/光熱費: 0円/通学費: 0円 食費: 12,000円/通信費: 1,200円/書籍代: 1,000円 その他:(交通費 生活雑貨 制服 飲料水 wifiのためのカフェ 利用料など) 20,000円</p> <p>※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの: 円 (徴収された費用の名目:)</p>		

<p>その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)</p>	<p>ものは基本的に現地調達できる。身につけるものは砂ぼこりなどで汚れてしまったり、電気製品は w 数が合わなかったりする場合もあるので、かえって持っていかないほうがよい。</p> <p>銀行口座は開設しなかったが、もしするなら 1 番大手の BCEL がよい。日本のカードで毎回 ATM から引き出していたが、1 度現金が出てこないトラブルがあった。(解決済み) 平日の昼間に引き落とし、毎回カードの利用確認をしておけばトラブルは少なく済み、また何かあってもすぐ対処できる。</p> <p>スマホの通信は SIM カードを使うが、電話をかけられるものとネット通信のみ(電話を受けることならできる)の 2 種類がある。電話可能 SIM であれば日本の通信会社の契約は解除していいかもしれないが、ネットのみの場合、ラオスで電話を書ける場合には日本の通信会社の SIM に入れ替え、国際電話をする必要があるため、最低限の安いプランに切り替えておくといい。</p> <p>郵便物は基本的に届く。郵便局から連絡を受け、郵便局や大学の国際関係事務室に取りに行く。</p> <p>飲水は少し高いが大手の飲料メーカーの水が安心して飲める。</p> <p>ラオスには日本人留学生が少ないので、どれだけ学外の信用できる人とつながっておけるかが、なにか起きたときに重要になる。もちろんラオス人でもよいが、現地の日本人が頼りになると思うので、Facebook などにつながっておくとよい。日本人が少ない国では簡単に JICA や大使館の職員の方と知り合いやすい。Facebook では、知り合いの近況のみでなく、国の重大なニュース(コロナに関する政策の情報など)も早くわかりやすく知ることができる。</p>
--	--

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>授業は前期が9月から1月まで、後期が2月から6月まで。カリキュラムの組み立て方や、学期始まりの時期は学部や学科により大きく異なり、すこし複雑なため確認が必要。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 渡航前 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (9月頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input checked="" type="checkbox"/> その他(社会科学部の授業は先生に直接伝えた)</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input type="checkbox"/> 有り(具体的には以下のとおり) ・ ・ ・ ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>語学はラオス語準備過程の授業をとっていたため、1から問題なく勉強できた。不明な点、困ったことがあれば友人や先生が優しく教えてくれるため、自分から聞くことが大事。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)</p>	<p>ID登録には現地の病院での健康診断など、様々な書類が必要になり、いろいろとたらい回しにさせられるため1週間ほどかかる。正直何をどの手順でしたかは覚えていない。東京外国語大学からの留学生でさえ把握できていない。ただ、彼女たちはラオス人で日本語を学んでいる学生とのネットワークを持っているので手続きは一緒に行うのが一番いい。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>サークルなどはなかった。ただ、大学の敷地内にある日本ラオスセンターには日本について勉強しているラオス人が集まるのでイベントに参加し、知り合いを増やした。一時期お寺に日本語を教えに行っていたが、それは日本人のラオスで仕事をしている方からの紹介だった。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	登校	登校	ランニング	登校	登校	ランニング	
8:00	授業	授業		授業	授業	寮にて勉強	出かける
9:00			寺				
10:00							
11:00							
12:00	下校	昼休み		昼休み	昼休み	友人と談笑	
13:00	カフェ勉強	授業		授業	授業	出かける	出かける
14:00		校内で勉強	でかける勉強	校内で勉強			
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00	ランニング			ランニング	ランニング		
20:00	友人と談笑		勉強	友人と談笑	勉強		ランニング
21:00							
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

あたり前のことだが、留学中ラオス語をずっと勉強していて、語学は続けたらできるようになることがわかった。最初はラオス語をラオス語で勉強することに苦労していたが、次第にやり方をつかみ、慣れていった。日本語や英語など、他の言語ではなくその言語を使った説明で学ぶことで、語感を捉えたり、その言い回しを通して人の考え方や文化を知ることができる。現地でしかできない学びだった。

授業だけでなく、日常生活の会話も勉強にだった。ラオス語を正しく使えなくても、なんとか言葉で伝えようとする相手もうまく言い換えてくれる。そこで正しい使い方を知ることができる。この経験を日々繰り返していることで言語へのストレスもなくなっていった。また、ラオス語の学習を通して、英語への苦手意識が薄まった。ラオス語を勉強するときに音と表記を強く意識していたが、この意識によって英語のリスニング力も上がったように思う。

卒論の執筆にも取り組む予定だったが、時間が足りなかった。ただ、もともとの関心とは違う多くの発見があり、当初の予定通りではない卒論のテーマを見つけることができた。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

希望する人が現れるとは到底思いませんが、情報量の少ない国に行くと、何もかもが新たな発見で面白いです。熊本には熊本ラオス友好協会があり、その会員の方々と繋がりを持っていれば、現地のつてもでき、安心です。

授業も生活も遊びも思い通りになることなどありません。臨機応変に柔軟な思考で、安全面も考慮しつつ、何事も楽しんでいければ実りある時間を過ごせると思います。

留学を通しての感想

大学での履修は思うように行かないことが多かったものの、現地の人との交流の中で多くのことを学ぶことができた。同じラオス人であっても、年齢、職業、出身など、様々でそれぞれの考えも多様であり、途上国の人たちとまとめて考えることはできない。これはラオス人だけでなく、中国人や韓国人、ベトナム人の友人たちと関わることで感じたことだ。日本人との出会いも多かった。JICA や青年海外協力隊の方、会社の派遣で働きにきている方、現地で個人の事業をしている方々。ラオスとの関わり方や今までの経歴、これからの展望も人それぞれで大変勉強になった。

国内の旅行（フィールドワーク）を通しての発見、出会いも多かった。ラオスは多民族国家で、地域によって人の生活は大きく変わる。自分の目でその違いを見ることができたのはよかった。すべて貴重な経験だ。

今回の留学の大きなテーマは今のラオスを知ることだった。コロナの影響で留学中断となってしまったのは悔しい限りだが、テーマに沿った留学にはなった。これからラオスで築いた人とのつながりを大事に、情報収集もしながら研究を進めていきたい。状況が落ちついて渡航が可能になれば、交換留学としてではないが1ヶ月程度の滞在を予定している。